



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8075 URL <https://www.shinsho.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高下 拡展
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 岡 洋平 (TEL) 03-5579-5201
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	445,684	△4.2	8,611	△17.6	8,562	△9.1	6,275	△7.4
2025年3月期第3四半期	465,011	7.3	10,448	12.6	9,414	9.9	6,776	3.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 7,150百万円(△12.6%) 2025年3月期第3四半期 6,352百万円(△44.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 237.54	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	256.58	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 387,533	百万円 97,226	% 24.6
2025年3月期	386,870	92,977	23.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 95,293百万円 2025年3月期 91,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 150.00	円 銭 —	円 銭 150.00	円 銭 300.00
2026年3月期	—	53.00	—	53.00	106.00
2026年3月期(予想)				53.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の年間配当金は、318円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 637,000	% 3.2	百万円 11,900	% △10.0	百万円 12,000	% 2.0	百万円 9,200	% 7.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	26,581,686株	2025年3月期	26,581,686株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	159,313株	2025年3月期	165,063株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	26,420,209株	2025年3月期 3Q	26,410,947株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬B I P信託口」が保有する当社株式（2026年3月期 3Q 135,855株、2025年3月期 141,642株）が含まれております。また、「役員報酬B I P信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期 3Q 138,021株、2025年3月期 3Q 147,315株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における世界経済は、主要国間の貿易摩擦の激化や政策不確実性の高まりから成長率が下方修正され、依然として先行き不透明な状況が続きました。我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方、輸入コスト上昇や外需の不透明感により経済活動には引き続き慎重な姿勢が求められる状況が続き、輸出や住宅投資の弱さが景気の回復ペースを抑制しました。

当期間における業績につきましては、売上高は4,456億84百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は86億11百万円（同17.6%減）、経常利益は85億62百万円（同9.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億75百万円（同7.4%減）となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①金属セグメント

i) 鉄鋼ユニット

主力である特殊鋼・鋼板製品については、海外日系自動車生産台数及び建築向け分野需要の減少、また鋼材価格の下落により減収となりました。一方で、金融収支等が増加したことにより、全体では減収増益となりました。

これらにより、鉄鋼ユニットの売上高は1,875億31百万円（前年同四半期比3.8%減）となり、利益は42億67百万円（同7.7%増）となりました。

ii) アルミ・銅ユニット

銅製品は、空調銅管の評価益等により増益となった一方で、アルミ製品は、自動車向け取扱量の減少により減収減益となりました。非鉄原料は、アルミ再生塊、アルミ屑の取扱量減少により減収減益となりました。

これらにより、アルミ・銅ユニットの売上高は1,331億48百万円（前年同四半期比6.9%減）となり、利益は17億93百万円（同23.8%減）となりました。

iii) 原料ユニット

㈱神戸製鋼所向け主原料については、鉄鋼需要が減ったことで粗鋼生産が低調となり、需給が緩んだ結果、主原料価格は下落しました。重点分野である資源循環ビジネスについては、海外の鉄スクラップ需要が堅調であり、輸出取扱量が増加しました。一方でバイオマス燃料は、取引先の操業トラブルの影響により、取扱量が減少しました。また海外子会社において、前年度に計上した一過性利益の剥落に加えて、今年度海外投資先における操業不調の影響により減益となり、全体では減益となりました。

これらにより、原料ユニットの売上高は574億85百万円（前年同四半期比6.8%減）となり、損失は1億32百万円（前年同四半期利益13億57百万円）となりました。

②機械・溶接セグメント

i) 機械ユニット

国内では電池材料の取扱量が増加、非汎用圧縮機や冷熱・ヒートポンプ等の脱炭素関連機器の本体納入が増加し、売上高・利益とも堅調に推移しました。国内子会社では電気溶解炉の取扱いが増加、海外では中国での建機部品輸出及び米国でのLNG向け機器・鋳物ケーシング等の納入が増加しました。

これらにより、機械ユニットの売上高は466億29百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、利益は22億67百万円（同78.7%増）となりました。

ii) 溶接ユニット

溶接材料の取扱高は主要業種の工事量減少に伴い、国内外とも減少しました。溶接機材の取扱量は国内外とも減少しました。生産材料では、溶剤原料、チタン原料、鋼材の取扱量が減少しました。結果としてユニット全体では減収減益となりました。

これらにより、溶接ユニットの売上高は207億58百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、利益は4億86百万円（同11.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,875億33百万円となり、前連結会計年度末比6億62百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の減少と電子記録債権の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,903億6百万円となり、前連結会計年度末比35億86百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は972億26百万円となり、前連結会計年度末比42億49百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上とその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想及び配当予想につきましては、2025年5月8日公表時より変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,381	16,212
受取手形及び売掛金	189,458	190,585
電子記録債権	18,022	26,869
商品及び製品	74,841	70,613
仕掛品	140	121
原材料及び貯蔵品	1,635	856
前払金	21,984	20,719
その他	10,382	9,887
貸倒引当金	△306	△292
流動資産合計	337,539	335,572
固定資産		
有形固定資産	8,646	8,038
無形固定資産	2,025	2,190
投資その他の資産		
投資有価証券	32,574	34,997
出資金	1,863	1,944
長期貸付金	2,068	1,585
退職給付に係る資産	20	14
繰延税金資産	1,919	1,564
その他	4,629	4,506
貸倒引当金	△4,416	△2,880
投資その他の資産合計	38,659	41,731
固定資産合計	49,331	51,960
資産合計	386,870	387,533
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,239	151,315
電子記録債務	13,400	15,246
短期借入金	45,905	47,962
未払法人税等	1,864	1,005
契約負債	12,385	12,307
賞与引当金	1,582	982
預り金	18,432	16,324
その他	19,389	25,388
流動負債合計	272,200	270,532
固定負債		
長期借入金	15,350	12,600
預り保証金	732	656
繰延税金負債	3,978	4,869
役員株式給付引当金	88	113
退職給付に係る負債	970	968
その他	572	567
固定負債合計	21,692	19,774
負債合計	293,893	290,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,615	2,615
利益剰余金	69,165	72,289
自己株式	△220	△212
株主資本合計	77,210	80,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,017	8,791
繰延ヘッジ損益	67	19
為替換算調整勘定	7,141	6,139
その他の包括利益累計額合計	14,226	14,951
非支配株主持分		
純資産合計	1,539	1,932
負債純資産合計	386,870	387,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	465,011	445,684
売上原価	434,392	416,906
売上総利益	30,619	28,778
販売費及び一般管理費	20,170	20,166
営業利益	10,448	8,611
営業外収益		
受取利息	245	207
受取配当金	1,264	1,801
持分法による投資利益	149	452
為替差益	–	72
雑収入	439	318
営業外収益合計	2,099	2,851
営業外費用		
支払利息	1,421	1,190
売掛債権譲渡損	443	564
為替差損	678	–
デリバティブ評価損	309	830
雑損失	280	315
営業外費用合計	3,133	2,901
経常利益	9,414	8,562
特別利益		
投資有価証券売却益	722	1,136
負ののれん発生益	179	–
特別利益合計	902	1,136
特別損失		
投資有価証券売却損	–	21
特別損失合計	–	21
税金等調整前四半期純利益	10,316	9,677
法人税、住民税及び事業税	2,818	2,840
法人税等調整額	670	470
法人税等合計	3,489	3,310
四半期純利益	6,827	6,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,776	6,275

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,827	6,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,130	1,778
繰延ヘッジ損益	△84	△47
為替換算調整勘定	694	△725
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△222
その他の包括利益合計	△474	783
四半期包括利益	6,352	7,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,285	7,000
非支配株主に係る四半期包括利益	66	149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2			
	金属			機械・溶接			計							
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	計							
売上高														
外部顧客への売上高	194,906	142,995	61,696	399,598	43,852	21,384	65,237	464,836	175	—	465,011			
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	262	△262	—			
計	194,906	142,995	61,696	399,598	43,852	21,384	65,237	464,836	438	△262	465,011			
セグメント利益 又は損失(△)	3,963	2,352	1,357	7,673	1,268	549	1,817	9,490	△76	—	9,414			

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2			
	金属			機械・溶接			計							
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	計							
売上高														
外部顧客への売上高	187,531	133,148	57,485	378,165	46,629	20,758	67,388	445,553	130	—	445,684			
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	0	—	—	—	0	263	△263	—			
計	187,531	133,148	57,485	378,165	46,629	20,758	67,388	445,553	393	△263	445,684			
セグメント利益 又は損失(△)	4,267	1,793	△132	5,928	2,267	486	2,753	8,682	△120	—	8,562			

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はございません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,203百万円	1,101百万円
のれんの償却額	68百万円	68百万円